

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 部活動の地域移行について</b> (30分)</p> <p>教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場として意義のある部活動ですが、急速な少子化による部活動数の減少と教職員の業務負担が大きな課題となっています。</p> <p>令和2年9月にスポーツ庁から出された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」によれば、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築し、生徒の活動機会を確保するために「令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る」としています。</p> <p>休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保や保護者による費用負担等の課題があります。</p> <p>本市では、市内中学校に教員以外で専門的技術及び指導力を備えた部活動外部指導者を派遣しています。</p> <p>これまでの取組を踏まえ、文部科学省の休日の部活動の外部委託を進める方針についてのお考えを伺います。</p> <p>(1) 市内中学校の部活動について  ア 運動部・文化部の現状と課題は。  イ 部活動外部指導者・部活動指導員の現状は。  ウ 合同部活動の現状は。</p> <p>(2) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について  ア 休日の部活動の外部委託の課題は。  イ 教職員の関わりと働き方への影響は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p><b>2 市民が頼れる総合事業に</b> (30分)</p> <p>誰でも年齢を重ね高齢者になります。</p> <p>第6次総合計画の重点戦略2「いつまでも健康でいられるまちづくり」は、地域と連携した健康づくりを進めると同時に、元気な高齢者の社会参加による活気あるまちづくりを目指す政策です。</p> <p>「健康寿命」という言葉が聞かれるようになり、本市も積極的に介護予防・フレイル予防と健康づくりに取り組んでいますが、日常生活を送る上での不安を拭い去るための環境整備も求められています。</p> <p>介護保険制度改正の経過では、平成17年の予防重視型システムへの転換に向けた改正以降、地域包括ケアシステムの充実が図られてきました。近年は、要支援1・2の高齢者に対する介護予防訪問介護と通所介護サービスが、保険給付から総合事業に移行され、市は、地域の実情に応じたサービスを提供することになりました。</p> <p>また、報道によれば、財務省は令和4年4月13日、財政健全化への道筋などを話し合う審議会（財政制度等審議会・財政制度分科会）において、今後の社会保障をテーマとして取り上げました。介護保険制度の見直しにも言及し、要介護1・2の高齢者を「軽度者」とし、地域支援事業に移行していくことも提案しています。</p> <p>しかしながら、地域の実情に合わせたサービスを提供できるようにするという説明は変わりません。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために始まった総合事業は、市民が頼れる仕組みになっているのでしょうか。 総合事業の現状と今後の方向性について伺います。</p> <p>(1) 総合事業の現状について ア 介護予防・生活支援サービス事業について イ 一般介護予防事業について</p> <p>(2) 第8期における総合事業の改正点について ア 基準緩和型サービスについて イ 短期集中型通所サービスについて ウ 一般介護予防事業について</p> <p>(3) 総合事業の方向性について</p>	